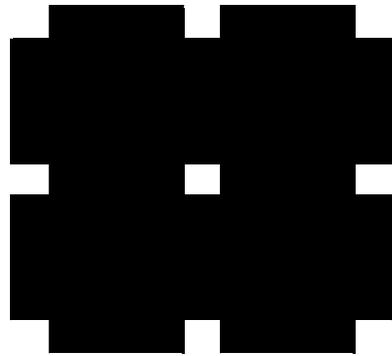


平成 26 年度

# 事業概要



岐阜市保健所食肉衛生検査所

## 目 次

第1章	総 説	
	1 沿 革	1
	2 組織・機構	3
	3 職員構成	3
	4 所轄と畜場及び食鳥処理場	3
	5 と畜場設置許可申請手数料	3
	6 検査手数料等	4
	7 検査所平面図	4
	8 主要検査機器	5
第2章	と畜検査業務	
	1 と畜検査頭数	
	(1) 年度別と畜検査頭数	7
	(2) 月別と畜検査頭数	8
	(3) と畜場外と畜頭数	8
	(4) 緊急と畜検査頭数	8
	(5) 牛産地別出荷頭数	8
	2 と畜検査結果に基づく措置	
	(1) 獣畜のと畜禁止又は廃棄したものの疾病別内訳	9
	(2) 一部廃棄したものの病類別内訳	10
	(3) 過去10年間の疾病別全部廃棄の推移	12
	3 精密検査実施状況	
	(1) 精密検査件数	13
	(2) 残留抗菌性物質検査件数	13
	(3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング調査件数	13
	(4) BSEスクリーニング検査頭数	14
	(5) 枝肉の微生物汚染調査件数	14
	(6) グリア繊維性酸性タンパク (GFAP) 残留量調査件数	14
第3章	食鳥検査業務	
	1 検査羽数	
	(1) 月別食鳥検査羽数	15
	(2) 年度別検査羽数推移	15
	2 精密検査実施状況	
	(1) 精密検査件数	17
	(2) 残留抗菌性物質検査件数	17
	(3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング検査件数と内訳	17
	3 検査廃棄処分したものの内訳	
	(1) 食鳥のとさつ、内臓摘出禁止又は廃棄したものの原因	18
	(2) 月別疾病羽数・処分羽数	19
第4章	その他の事業	
	衛生講習会等の実施状況	20
第5章	調査研究	
	1 調査研究発表演題一覧	21
	2 平成26年度調査研究	
	豚枝肉の細菌数軽減に向けた洗浄方法の検討	22
第6章	付 表	
	食肉市場の概要	25

# 第1章 総 説

## 1. 沿革

大正12年	3月	岐阜市上加納山にと畜場設置(市営と畜場)
昭和24年	12月	法改正により岐阜市が政令市となる と畜検査業務が、岐阜市保健所所管となる
昭和42年	11月	岐阜市茜部5635の1にと畜場を新築移転 岐阜市食肉センターと改称 岐阜市南保健所衛生課と畜検査係となる
昭和48年	1月	岐阜市食肉地方卸売市場として開設許可を受ける
昭和49年	4月	岐阜市南保健所食肉検査課となる
昭和52年	4月	町名変更により岐阜市境川5-148となる
昭和56年	2月	食肉検査室完成 鉄骨平屋建 68㎡
昭和56年	4月	機構改革により岐阜市中央保健所食肉検査課となる
昭和63年	2月	食肉検査室増改築完成 鉄筋コンクリート二階建一部鉄骨平屋建 308㎡
平成 4年	4月	食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律の 施行により食鳥検査業務が食肉検査課所管となる 検査一係 ・ 検査二係となる
平成 6年	4月	名称変更により岐阜市中央保健所食肉衛生検査所 となる
平成 9年	4月	機構改革により岐阜市保健所食肉衛生検査所となる と畜検査係 ・ 食鳥検査係となる
平成11年	4月	名称変更により、と畜検査係が食肉検査係となる
平成12年	4月	機構改革により岐阜市保健福祉部保健所食肉衛生 検査所となる
平成13年	10月	B S Eスクリーニング全頭検査開始
平成14年	4月	B S E専用検査室完成
平成15年	4月	機構改革により岐阜市市民健康部保健所食肉衛生 検査所となる 食肉検査グループ ・ 食鳥検査グループとなる
平成17年	4月	と畜検査手数料を改定
平成20年	4月	機構改革により市民健康部が健康部となる
平成23年	4月	機構改革により食肉検査係・食鳥検査係となる
平成25年	7月	B S Eスクリーニング検査が48か月齢超に限定され、 全頭検査が見直しとなる

〒500-8266

岐阜市境川5丁目148番地

電話 (058) 275-1550

FAX (058) 275-1554

## アクセス方法

### ○鉄道利用の場合

#### 1) 駅よりタクシー利用の場合

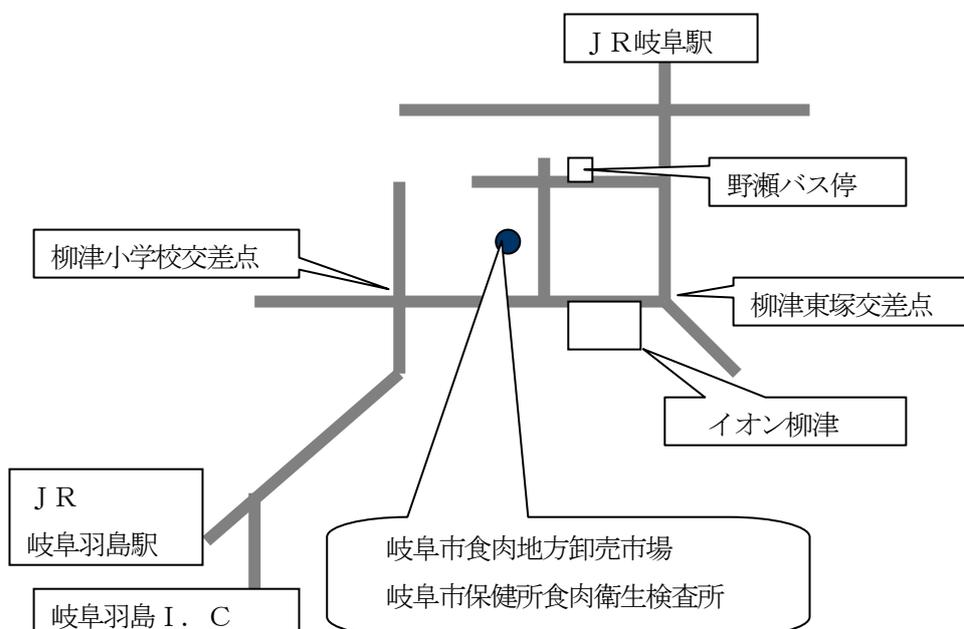
JR岐阜駅、JR新幹線岐阜羽島駅より、「岐阜市食肉地方卸売市場」へ

#### 2) 駅よりバス利用の場合

JR岐阜駅より、岐阜バス三田洞茜部線「高桑行き」に乗車し野瀬バス停下車後  
前進し最初の交差点を左折し600m南進

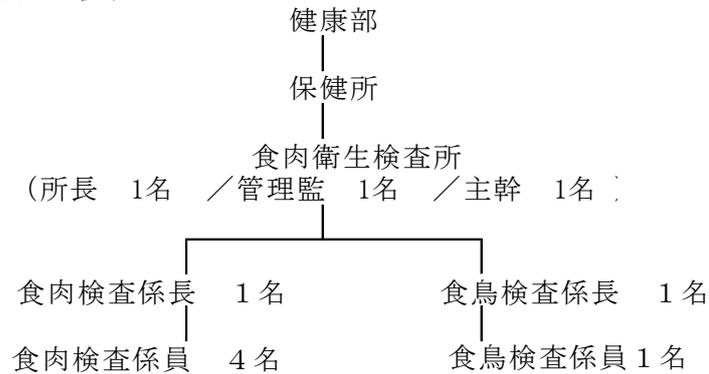
### ○高速道路利用の場合

名神高速岐阜羽島I.C出口を左折し直進後、県道151号(岐阜羽島線)に右折  
直進して県道1号に合流して進み柳津小学校前交差点を右折して、9番目の交差点を  
左折し200m直進



## 2. 組織・機構

平成27年4月1日現在



## 3. 職員構成

平成27年4月1日現在

職名	人数
所長	1
管理監	1
主幹	1
副主幹	2 (係長 2名)
主査	1
副主査	3
主任技師	1
嘱託職員	3 (食肉検査係 3名)
計	13

## 4. 所轄と畜場及び食鳥処理場

平成27年4月1日現在

所轄	名称	所在地
と畜場	岐阜市食肉地方卸売市場	岐阜市境川5丁目148
食鳥処理場	株式会社ギフシヨク	岐阜市安食491

## 5. と畜場設置許可申請手数料

平成27年4月1日現在

区分	金額(円)	最終改正年月日
一般と畜場	22,000	平成12年3月31日
簡易と畜場	10,800	平成12年3月31日

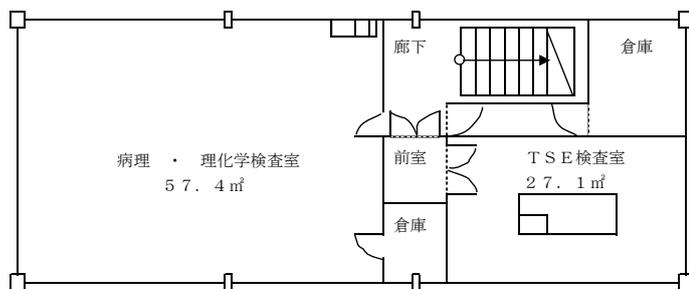
## 6. 検査手数料等

平成27年4月1日現在

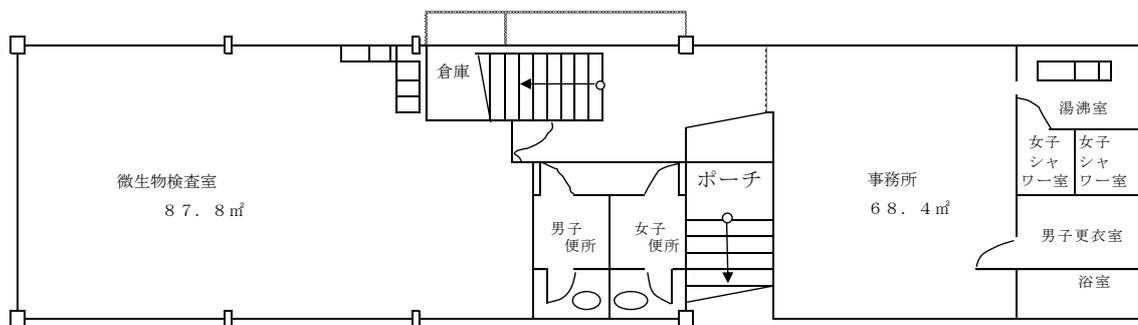
畜種	検査手数料	と畜場使用料	解体料	備考
牛・馬	700	2,592	4,320	
豚	300	864	2,057	枝肉重量100kg以上
	300	864	1,080	
とく	300	864	1,080	
めん羊・山羊	300	864	1,080	
食鳥	3	—	—	

(1頭又は1羽につき 単位：円)

## 7. 検査所平面図



2階



1階

出入口

## 8. 主要検査機器

### 微生物関係

機器名	数量	型 式
デシケーター	2	井内 WVN他
電子上皿天秤	2	メトラー PJ-360 TANITA KD-200
超音波洗浄器	1	ヤマト IC-42
薬用冷蔵庫	5	サンヨー MPR-1011他
ディープフリーザー	1	日本フリーザー VT-208
恒温振盪水槽	1	東洋アドバンテック TS-20S
バイオクリーンベンチ	1	サンヨー MCV-B161F
蛍光顕微鏡	1	オリンパス BHS-RFK-AI型
倒立顕微鏡	1	オリンパス CK2-TR
顕微鏡撮影装置一式	2	オリンパス BH-2 ニコン eclipse 80i、KEYENCE VB-7010
現像焼付装置一式	1	オリンパス
スライド投影器	1	キャビン工業オートキャビン
ストマッカー	1	グンゼマスティケーター 400D
ホモジナイザー	1	日立 HG30
フリーザー	1	サンヨー MDF-235
CO <sub>2</sub> インキュベーター	1	サンヨー MCO-175
インキュベーター	2	サンヨー MIR-252
	1	ヤマト IC-102
オートクレーブ	1	サンヨー MLS-3000
	1	サンヨー MLS-3750
乾熱滅菌器	2	ADVANTEC DRM620TB ヤマト SG-81
恒温乾燥機	1	サンヨー MDV-102
DNA増幅装置	2	宝酒造 TP-3000 Verit™ 200
電気泳動装置一式	1	イワキ ALB-301
電気泳動撮影装置	1	フナコシ FP-6000
トランスイルミネーター	1	フナコシ LM-20-E
微量高速遠心器	1	トミー MX-160
製氷器	1	ホシザキ KM
デンストグラフシステム1式	1	バイオ・ラッド・ラボラトリー Gel Doc PCシステム
蒸留水製造装置	1	ADVANTEC RFD240NA
超純水製造装置	1	ミリポア SIMSV0000
薬品保管庫	1	セーフティキャビネットSF-5BE

### BSE関係

機器名	数量	型 式
電子上皿天秤	1	ザルトリウス 363-65-58-19
細胞・試料破碎装置	1	安井器械 マルチビーズショッカー
	2	フナコシ FastPrep FP120
電動連続分注器	5	エッペンドルフ マルチヘッドプロ、マルチヘッドstream、マルチヘッドプラス×3
恒温水槽	1	アズワン サーマルロボTR-1A
冷却遠心機	2	クボタ 3615、エッペンドルフ Centrifuge 5417R
ボルテックス	2	VORTEX GENIE2 G560
サーモアルミバス (2槽式)	1	IWAKI DOUBLE ALUMI BATH ALB-301
	1	COOL STAT anatech モデル 5520a
マイクロプレートウォッシャー	2	バイオラッド モデル 1575
マイクロプレートリーダー	2	バイオラッド モデル 550、Thermo Multiskan FC Type357
冷凍冷蔵庫	1	SANYO MEDICOOL MPR-414FS
高圧蒸気滅菌器	1	TOMY精工 KS-323
安全キャビネット	1	HITACHI SCV

理化学関係

機器名	数量	型 式
遠心分離機	2	KOKUSAN H-103N
分光光度計	1	島津 UV-120-02
アスピレーター	1	イワキ ASP-13MDA
恒温器	1	ヤマト IC-102
ロータリーエバポレーター	2	東京理化 N-1000型
電気泳動装置	1	アトー科学
高速液体クロマトグラフ	1	島津 LC-10Aシステム
	1	島津 Nexeraシステム
電子上皿天秤	1	PB303-S 島津AUW220D
超音波洗浄器	1	エルテック UT-30A
ピペット用超音波洗浄器	1	島津 SUS-100PN
薬用保冷庫	3	サンヨー MPR-504他
バイオメディカルフリーザー	1	三洋電気(株) MDF-U338他
赤外線水分計	1	島津 TV-250D
全自動スーパードライシステム	2	スポットケムSP-4410 スポットケムSP-4430
pHメーター	1	東亜DKK HM-30G
振とう器	1	ヤマト SA300
蒸留水製造装置	1	アドバンティック RFD230RA

病理関係

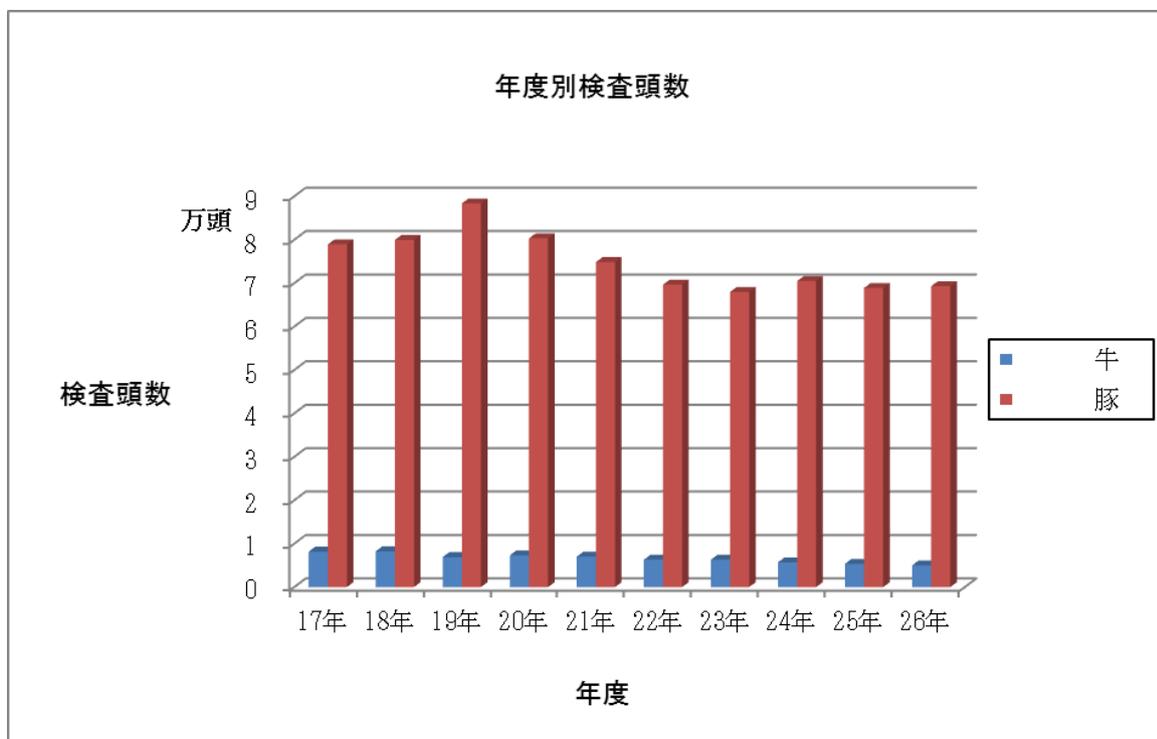
機器名	数量	型 式
マイクローム 一式	1	ヤマト工機 TU-213
クリオスタット	1	白井松 スターレット2122
パラフィン溶融器	1	池本理化 B1
ドラフトチャンバー	1	ヤマト FRS-120型
実体顕微鏡	1	オリンパス SZH10-131
自動包埋器	1	白井松 オーキット1400P
パラフィン伸展器	1	サクラ PS-52
フリーザー	1	三洋 MDF-330
ドライキーパー	1	島津 ED-130

## 第2章 と畜検査業務

# 1. と畜検査頭数

## (1) 年度別と畜検査頭数

年度 \ 畜種	牛	馬	豚	とく	めん羊 山羊	総数
17年	8,158		78,925			87,083
18年	8,231		79,950	1		88,182
19年	6,908		88,368	1		95,277
20年	7,295		80,306			87,601
21年	7,015		74,846	3		81,864
22年	6,290		69,647			75,937
23年	6,306	1	67,975			74,282
24年	5,702		70,467			76,169
25年	5,350		68,880	3		74,233
26年	4,980		69,302			74,282



(2) 月別と畜検査頭数

月	畜種	黒毛和種		交雑種		ホルスタイン種		肉専用種		牛計	とく	馬	豚	めん羊	山羊	総数
		去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌							
4		240	136	6	0	4	0	10	0	396	0	0	5,369	0	0	5,765
5		280	127	4	4	4	0	14	0	433	0	0	5,385	0	0	5,818
6		193	91	6	3	3	0	11	0	307	0	0	4,999	0	0	5,306
7		290	136	4	5	4	0	11	0	450	0	0	6,262	0	0	6,712
8		261	107	6	2	5	0	11	0	392	0	0	5,516	0	0	5,908
9		196	100	3	0	2	0	12	0	313	0	0	6,130	0	0	6,443
10		334	156	8	2	3	0	15	0	518	0	0	5,782	0	0	6,300
11		414	193	4	3	2	0	4	0	620	0	0	5,397	0	0	6,017
12		369	165	8	0	4	0	13	0	559	0	0	6,651	0	0	7,210
1		233	130	3	0	2	0	10	0	378	0	0	6,310	0	0	6,688
2		191	84	4	4	4	0	14	0	301	0	0	5,533	0	0	5,834
3		185	107	3	2	2	0	14	0	313	0	0	5,968	0	0	6,281
総数		3,186	1,532	59	25	39	0	139	0	4,980	0	0	69,302	0	0	74,282

(3) と畜場外と殺頭数

畜種	畜種					合計
	牛	とく	馬	豚	合計	
切迫と殺						
不慮の災害による負傷	0	0	0	0	0	
不慮の災害で救うことのできない状態	0	0	0	0	0	
難産	0	0	0	0	0	
産褥麻痺	0	0	0	0	0	
急性鼓脹症	0	0	0	0	0	

(4) 緊急と畜検査頭数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
畜種													
牛	2	2	3	4	3	3	8	1	0	2	3	3	34
豚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 牛産地別出荷頭数

出荷県	黒毛和種			交雑種			ホルスタイン種			肉専用種			総計
	去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計	
岐阜	3,097	1,504	4,601	6	19	25	2	0	2	138	0	138	4,766
長崎	52	14	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66
福井	0	0	0	50	0	50	0	0	0	0	0	0	50
三重	0	0	0	2	2	4	37	0	37	0	0	0	41
神奈川	26	13	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39
愛知	8	1	9	1	4	5	0	0	0	0	0	0	14
京都	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
北海道	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
オーストラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
総計	3,186	1,532	4,718	59	25	84	39	0	39	139	0	139	4,980

## 2. と畜検査結果に基づく措置

### (1) 獣畜のと殺禁止又は廃棄したものの疾病別内訳

畜種	牛			とく			馬			豚			めん羊			山羊				
	措置	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	
処分実頭数		20	3,250								123	31,783								
細菌病	炭疽																			
	豚丹毒																			
	サルモネラ症																			
	結核病																			
	ブルセラ病																			
	破傷風																			
	放線菌症																			
	その他																			
リウマチ病	豚コレラ																			
	その他																			
原虫病	トキソプラズマ病																			
	その他																			
寄生虫病	のう虫病																			
	ジストマ病			6																
	その他											6,718								
その他の疾病	膿毒症										95									
	敗血症		3								15									
	尿毒症		8								2									
	黄疸		6	11								1								
	水腫		1	189								424								
	腫瘍			2							1	8								
	中毒諸症																			
	炎症又は炎症産物による汚染			6,901							10	45,891								
	変性又は萎縮			551								1,979								
	その他		2	1,754								12,392								
計		20	9,414							123	67,413									

(2) 一部廃棄したものの病類別内訳

病類	畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊
消化器系	肝 肝 蛭 症	6					
	肝 間 質 炎				4,296		
	肝 膿 瘍	179			19		
	肝 包 膜 炎	94			1,659		
	胆 管 炎	193					
	肝 炎	77			451		
	褪 色 肝	587			4,815		
	脂 肪 肝	5					
	肝 硬 変	1			4		
	肝 富 脈 斑						
	肝 出 血 斑	892					
	鬱 血 肝				2		
	鋸 屑 肝	365					
	肝 腫 瘍						
	胃 炎	827			422		
	創 傷 性 胃 炎						
	胃 潰 瘍				8,483		
	鼓 張 症						
	小 腸 炎	838			3,074		
	大 腸 炎	877			3,074		
	大 腸 粘 膜 変 色						
	腸 間 膜 脂 肪 壊 死	90					
	腸 間 膜 リンパ 乾 酪 変 性				106		
	腸 リンパ 壊 死				1		
	腸 間 膜 水 腫	2			33		
	腸 間 膜 膿 瘍						
	直 腸 脱				22		
	鎖 肛				1		
	回 虫 寄 生				2,422		
	腸 気 泡 症						
	臍 臓 炎						
	へ ル ニ ア				420		
腹 膜 炎	11			1,518			
直 腸 周 囲 脂 肪 壊 死	120						
呼吸循環器系	肺 炎	79			9,545		
	肺 膿 瘍	18			3,342		
	胸 膜 炎	22			4,779		
	血 液 吸 入 肺	10			4,123		
	異 物 吸 入 肺						
	肺 氣 腫	20			2,320		
	肺 水 腫						
	心 外 膜 炎	9			2,768		
	心 内 膜 炎	4			14		
	心 内 膜 出 血	1					
	心 筋 出 血	1					
	心 膿 瘍						
	心 筋 炎	1					
	横 隔 膜 水 腫	11					
	横 隔 膜 膿 瘍	40			11		
	横 隔 膜 筋 肉 出 血	2					
	横 隔 膜 炎						
	縦 隔 膜 水 腫	16					
	縦 隔 膜 膿 瘍	10					
	縦 隔 膜 筋 肉 出 血	4					
縦 隔 膜 炎							
脾 う っ 血				12			
脾 膿 瘍							
脾 捻 転							
脾 腫							
脾 出 血 梗 塞				2			

病類		畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊
泌尿生殖器系	腎炎	12				83		
	腎膿瘍	11				10		
	腎嚢胞	1				968		
	腎水腫	12				3		
	腎脂肪壊死	254						
	腎脂肪変性							
	腎結石	23						
	膀胱炎	19				1		
	膀胱結石	29				6		
	膀胱破裂	1						
	尿道炎	9						
	尿道結石	10						
	妊娠子宮					31		
	死胎					1		
	卵巣腫瘍					1		
	卵巣嚢腫					12		
	子宮内膜炎					36		
	子宮蓄膿症					8		
	子宮脱							
	膣脱					2		
乳房炎	1				9			
皮膚運動器系	皮膚炎	8				4		
	角損傷	3						
	四肢骨折	7				125		
	その他骨折	1				12		
	脱臼	13				90		
	関節炎	28				824		
	四肢膿瘍	6				615		
	その他膿瘍	29				2,543		
	筋肉水腫	133				384		
	筋肉変性	78				728		
	筋肉出血	31				234		
	褥創	1				5		
	打撲傷	596				1,030		
	咬傷					696		
	挫傷	4				13		
	火傷					26		
	裂傷					1		
	脂肪変性	8				164		
	脂肪水腫	11				3		
	腫瘍					7		
血腫					17			
その他	放線菌症							
	奇形	159				530		
	抗生物質陽性							

(3) 過去10年間の疾病別全部廃棄の推移（と畜場法・食品衛生法による）

疾病名	年度	年度										合計
		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
牛	敗血症			2		4	1	4	1	2	3	17
	尿毒症	4	3	10	9	7	13	10	7	6	8	77
	高度の黄疸	2	2	2	2		2	2	1	2	6	21
	高度の水腫	1	1		1		2		1	1	1	8
	白血病	1		1	3	2	2	4	5	2	2	22
	中毒諸症											0
	炎性産物等による汚染				1							1
	腫瘍								2			2
	抗菌性物質等残留											0
	合計	8	6	15	16	13	20	20	17	13	20	148
	豚	敗血症	19	12	19	32	23	25	34	7	12	15
膿毒症		36	29	71	81	58	91	91	112	89	95	753
豚丹毒				1	8	5	1					15
尿毒症		5	1	3	2	2	6	6	5	1	2	33
高度の黄疸		2	1	3				1				7
白血病			3							1		4
熱性諸症												0
抗菌性物質等残留												0
その他		1	1	1	2	1	4	6	6	5	11	38
合計		63	47	98	125	89	127	138	130	108	123	1048

### 3. 精密検査実施状況

#### (1) 精密検査件数

畜種	項目 病類		検査頭数	精密検査内容				処分 全部廃棄頭数		
				細菌	病理	理化学			原虫その他	
						血液検査	その他			
牛	敗血症	疣状心内膜炎	3	3		1	1		3	
		その他								
	尿毒症	34			34	14			8	
	黄疸	17			17	5			6	
	水腫	1			1	1			1	
	炎症	2			2	1				
	白血病	2		2	2				2	
その他	106			106	31					
豚	敗血症	疣状心内膜炎	14	14						14
		その他	1	1						1
	尿毒症	4			4	3			2	
	黄疸	1			1					
	膿毒症	3			3	3			3	
	白血病									
	豚丹毒	1	1							
	変性または萎縮									
	炎症									
中毒										
その他	34		1	33	29			2		
総計		223	19	3	204	88	0	42		

#### (2) 残留抗菌性物質検査件数

##### I 病畜検査

畜種	検査頭数	検査検体数	陽性検体数	
			筋肉	腎臓
牛	57	114	0	0
豚	36	72	0	0
合計	93	186	0	0

##### II 繁殖豚検査

検査頭数	陽性頭数
407	0

#### (3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング調査件数

検査項目名	畜種	検査検体数	検査結果
抗菌性物質	牛	178	全て基準値以下
	豚	178	
内部寄生虫用剤	牛	24	
	豚	24	

(4) 牛海綿状脳症（BSE）スクリーニング検査頭数

月 齢	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
30か月齢以下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30か月齢超 48か月齢以下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48か月齢超		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【参考】と畜牛月齢

月 齢	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
30か月齢以下		295	325	233	343	280	221	370	487	454	265	225	229	3,727
30か月齢超 48か月齢以下		101	108	74	107	112	92	148	133	105	113	76	84	1,253
48か月齢超		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		396	433	307	450	392	313	518	620	559	378	301	313	4,980

最高月齢	37.1	37.7	36.8	36.8	37.0	34.7	35.6	34.0	36.4	37.2	36.3	36.1	
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--

(5) 枝肉の微生物汚染調査件数

畜種	検査頭数	検査検体数	検査項目						
			一般生菌数	大腸菌群数	0-157	サルモネラ属菌	黄色ブドウ球菌	カンピロバクター属菌	
牛	130	260	260	260	260	260	260	260	260
豚	130	260	260	260	260	260	260	260	260
計	260	520	520	520	520	520	520	520	520

(6) グリア繊維性酸性タンパク（GFAP）残留量調査件数

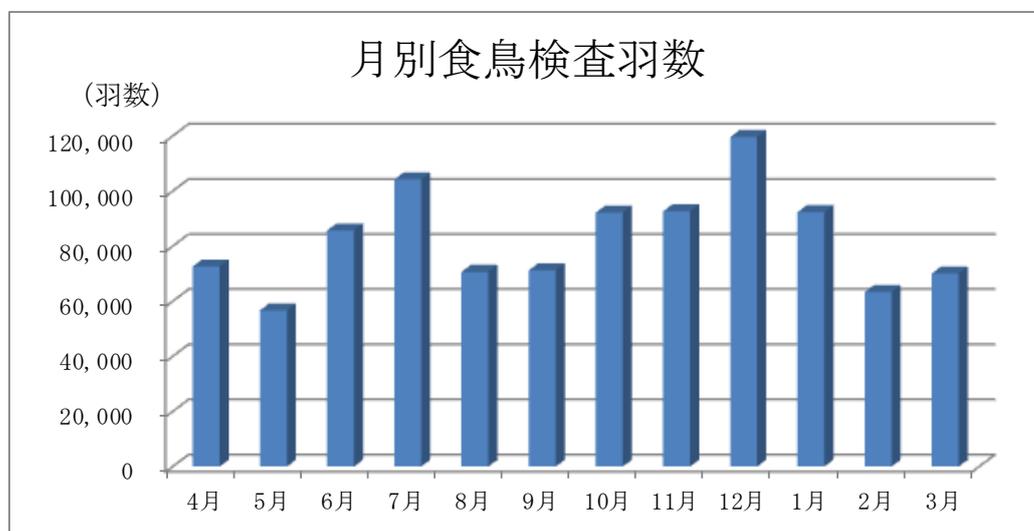
検査対象	検査頭数	検査検体数
牛枝肉	40	80

## 第3章 食鳥検査業務

# 1 検査羽数

## (1) 月別食鳥検査羽数

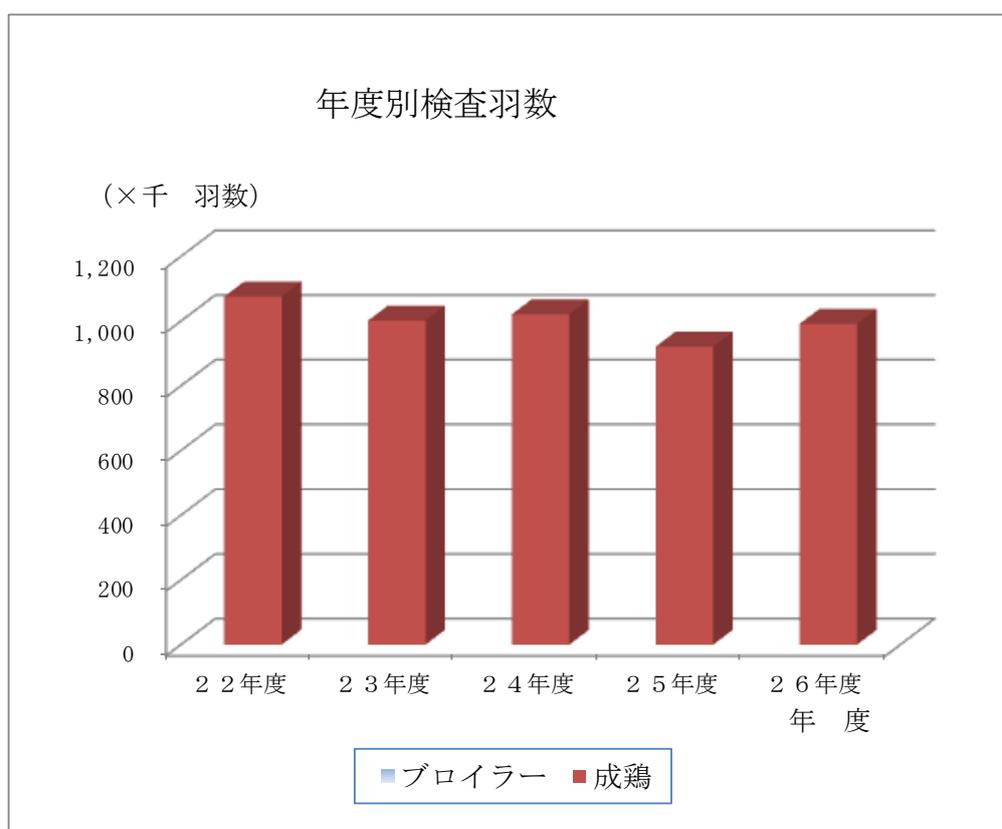
月	ブロイラー	成鶏	あひる	計
4月	0	72,689	0	72,689
5月	0	56,716	0	56,716
6月	0	85,743	0	85,743
7月	0	104,255	0	104,255
8月	0	70,682	0	70,682
9月	0	71,206	0	71,206
10月	0	92,219	0	92,219
11月	0	92,688	0	92,688
12月	0	119,640	0	119,640
1月	0	92,322	0	92,322
2月	0	63,400	0	63,400
3月	0	70,105	0	70,105
	0	991,665	0	991,665



(2) 年度別検査羽数推移

年度	ブロイラー	成鶏	あひる	検査羽数
22年度	0	1,075,405	0	1,075,405
23年度	0	1,001,585	0	1,001,585
24年度	0	1,021,146	0	1,021,146
25年度	0	921,177	0	921,177
26年度	0	991,665	0	991,665

\*ブロイラー処理施設が平成21年10月1日より休業、平成22年8月6日より廃止



## 2 精密検査実施状況

### (1) 精密検査件数

検査項目	と体（肉類等）	作業器具類	手指、床
一般生菌数	115	94	13
大腸菌群数	115	94	13
黄色ブドウ球菌数	115	94	13
カンピロバクター属菌	115	94	13
サルモネラ属菌	115	94	13

### (2) 残留抗菌性物質検査件数

検体	検査検体数	陽性検体数
腎臓等	23	0

### (3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング検査件数

検査項目	検査検体数	検査結果
抗菌性物質	8※	全て基準値以下
内部寄生虫用剤	3	

※延べ検体数は28

内訳

検体	延べ検体数	検査項目	備考
鶏の筋肉	3	フルベンダゾール	内部寄生虫用剤
	4	スルファジミジン	合成抗菌剤
	4	ナイカルバジン	合成抗菌剤
	4	スルファジメトキシシン	合成抗菌剤
	4	スルファメラジン	合成抗菌剤
	4	スルファキノキサリン	合成抗菌剤
	4	クロピドール	合成抗菌剤
	2	テトラサイクリン系	抗生物質
	2	ベンジルペニシリン	抗生物質
合計	31		

### 3 検査廃棄処分したものの内訳

(1) 食鳥検査羽数及び食鳥のとさつ、内臓の摘出禁止または廃棄したものの原因

B 処理場

平成26年度

検査羽数		ブロイラー			成 鶏			あひる／七面鳥		
		禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄
検査羽数		0			991,665			0		
処分実羽数					27,250	1,063	5,946			
疾病別	羽数	鶏痘			0	0	0			
		ウ			0	0	0			
		イ			0	0	0			
		ル			0	0				
		ミ			0	0				
		ヌ			0	0				
		メ			0	0				
		セ			0	0				
		ブ			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				
		チ			0	0				
		リ			0	0				
		フ			0	0				
		ク			0	0				
		ケ			0	0				
		コ			0	0				
		シ			0	0				
		ス			0	0				
		セ			0	0				
		ソ			0	0				
		ト			0	0				

(2) 月別疾病羽数・処分羽数

月	平成26年度										B施設 (成鶏のみ)			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
処理羽数	72,689	56,716	85,743	104,255	70,682	71,206	92,219	92,688	119,640	92,322	63,400	70,105	991,665	
死鳥	137	507	162	236	170	157	201	193	823	236	116	181	3,119	
禁止	2,177	1,294	2,273	2,756	1,437	1,287	2,169	1,993	3,567	3,025	3,090	2,182	27,250	
全部廃棄	140	0	51	86	203	191	126	266	0	0	0	0	1,063	
一部廃棄	434	653	381	454	297	590	556	402	722	569	339	549	5,946	
禁止の内訳														
著しい削瘦	908	577	812	1,046	718	486	723	923	1,547	1,295	1,667	981	11,683	
腹水症	1,008	562	866	1,238	509	664	1,306	756	1,587	1,421	974	814	11,705	
腹膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
炎症	54	29	46	31	29	27	24	67	122	63	46	32	570	
外傷	23	29	4	17	5	20	8	16	24	15	16	25	202	
皮膚病	26	9	13	17	14	7	17	35	21	5	21	6	191	
放血不良	37	19	22	54	77	33	13	49	69	61	24	87	545	
黄疸	63	33	485	312	65	20	40	81	111	29	278	172	1,689	
腫瘍	23	31	25	41	19	28	38	63	83	126	61	59	597	
その他	35	5	0	0	1	2	0	3	3	10	3	6	68	
全部廃棄の内訳														
著しい削瘦	63	0	30	31	151	46	98	184	0	0	0	0	603	
腹水症	68	0	12	27	39	109	15	53	0	0	0	0	323	
腹膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大腸菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
サルモネラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブドウ球菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
黄疸	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	13	
皮膚病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マレック病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
外傷	0	0	1	0	0	0	2	3	0	0	0	0	6	
放血不良	2	0	0	1	2	0	2	6	0	0	0	0	13	
炎症	0	0	0	3	2	0	3	12	0	0	0	0	20	
白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
DFD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
敗血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
腫瘍	7	0	8	11	9	36	6	8	0	0	0	0	85	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一部廃棄の内訳														
変性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大腸菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
敗血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
腹水症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
出血	283	434	257	336	213	396	393	265	465	389	220	347	3,998	
炎症	27	50	18	25	17	72	30	50	76	31	18	31	445	
腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
黄疸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
外傷	124	169	106	93	67	122	133	87	181	149	101	171	1,503	
著しい削瘦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
放血不良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 第4章 その他の事業

## 1 衛生講習会等の実施状況

- (1) と畜作業員に対し、ペタンチェックスタンプ法を用いて、作業中の器具、手洗いについての衛生指導を行った。
- (2) 衛生管理と食の安全への意識向上啓発
- ・ 場内衛生担当者会議（参加団体9団体） 4回
  - ・ 「食肉衛生検査所通信」の発行 4回
- (3) 大規模食鳥処理場作業員に対し、ペタンチェックスタンプ法を使用し、個別衛生指導及び講習会を実施。

## 2 危機管理演習の実施状況

- (1) と畜場病畜棟で炭疽発生を想定した演習を実施し、危機管理体制を充実するために関係者等に再確認させた。
- (2) 大規模食鳥処理場において高病原性鳥インフルエンザが発見された場合を想定した机上演習を実施した。

## 第5章 調査研究

1. 調査研究発表一覧

年	月	発表演題	発表場所
13	2	豚の大腸における水腫様病変の病理学的検討	平成12年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
13	2	牛の内臓の細菌汚染状況について	平成12年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
13	2	牛内臓から検出された病原細菌に関する検討	平成12年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
13	10	牛内臓搬送ラインの改良による肝臓細菌汚染防止効果について	第12回全食協東海北陸ブロック研修会
14	2	プロイラー肝臓の細菌汚染対策について	平成13年度厚生労働省食鳥衛生検査技術研修会
14	11	豚の飼養管理とサルモネラ属菌保有状況との関係	第13回全食協東海北陸ブロック研修会
15	2	ELISAを用いた抗生物質検査法について	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	2	食鳥由来 Salmonella Infantis のRAPDを用いた解析	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	2	食鳥処理場における微生物汚染調査と衛生指導について	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	2	豚丹毒抗体調査とPCRを用いた迅速診断	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	10	豚枝肉の微生物汚染状況について	第14回全食協東海北陸ブロック研修会
16	2	豚枝肉の微生物汚染原因についての一考察	平成15年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
16	2	食鳥処理場における食鳥と体および食鳥肉の微生物汚染状況	平成15年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
16	11	Haccpper水を用いた微生物汚染軽減の検討	第15回全食協東海北陸ブロック研修会
16	2	食鳥処理場における衛生指導	平成16年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
17	9	BSEスクリーニング検査陽性時の場内衛生対策演習について	第16回全食協東海北陸ブロック研修会
18	1	牛と畜場における、と体不動化装置を用いたピッシング廃止の取組について	平成17年度食肉衛生技術研修会
19	1	と畜場における、カンピロバクター属菌の汚染実態調査	平成18年度食肉衛生技術研修会
19	11	フルベンダゾール試験法アルミナ酸性カラム精製時におけるsoak法の検討	第18回全食協東海北陸ブロック研修会
20	2	プロイラー肝臓の次亜塩素酸ナトリウムによる細菌汚染振盪効果について	平成19年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
20	10	QuEChERS法（クエッチャーズ法）を応用した豚肉中のスルファジミジンの迅速分析法の確立	第26回全国食肉衛生検査所協議会 理化学部会研修会
20	11	炭疽の発生を想定した演習の実施について	第19回全食協東海北陸ブロック研修会
20	11	豚枝肉の汚染状況の把握と衛生確保に向けての取り組み	第19回全食協東海北陸ブロック研修会
21	2	名古屋コーチンのサルモネラ、カンピロバクター保菌状況調査	平成20年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
21	10	岐阜市食肉地方卸売市場における豚丹毒の発生状況とその分離菌株について	第20回全食協東海北陸ブロック研修会
22	2	食鳥処理場へ搬入された鶏のサルモネラ、カンピロバクター保菌状況調査	平成21年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
22	10	弱酸性次亜塩素水を用いた枝肉微生物汚染制御（報告）と今後の応用に関する検討	第21回全食協東海北陸ブロック研修会
23	2	成鶏から分離されたカンピロバクターのニューキノロン系薬剤耐性	平成22年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
24	1	SOPの映像化による、残留動物用医薬品検査法の伝達	平成23年度食肉衛生技術研修会
24	10	口蹄疫の発生を想定した演習実施について	第22回全食協東海北陸ブロック研修会
26	1	管内食鳥処理場の衛生管理向上への取り組み	平成25年度食肉衛生技術研修会
26	10	豚枝肉の細菌数軽減に向けた洗浄方法の検討	第23回全食協東海北陸ブロック研修会

## 豚枝肉の細菌数軽減に向けた洗浄方法の検討

岐阜市食肉衛生検査所 ○片桐 実穂, 古川 智子, 藤平 真

### 1. はじめに

一般生菌数は、全般的な細菌汚染の程度を反映するもので、取り扱いの適否を総合的に評価する際のきわめて有効な指標となる。当所では、厚生労働省通知「枝肉の微生物検査実施要領」に基づき、牛及び豚の胸部と肛門周囲部の拭き取り検査を月1~2回実施している。一般生菌数は肛門周囲部に比べて胸部で有意に多いことから ( $p < 0.05$ )、洗浄方法の指導を続けてきたが、昨年度豚枝肉胸部で荷受業者の自主管理目標である  $1.3 \times 10^4$  CFU/100 cm<sup>2</sup> を超過する個体が認められ、洗浄及び指導方法を再検討する必要があると考えられた。

枝肉全体の細菌数を軽減する洗浄方法及びその指導法を検証するために、今回はスタンプ法により豚枝肉10か所について洗浄前後における細菌汚染状況を検討し、若干の知見を得たので報告する。

### 2. 材料及び方法

岐阜市食肉地方卸売市場では、豚はとさつ後、塩素添加井水による自動洗浄機にて剥皮前に1回、剥皮後に1回洗浄した後、次亜塩素酸系殺菌水による高圧洗浄機で用手にて1頭ずつ洗浄を行っている。

豚枝肉は図1に示す10か所について、10 cm<sup>2</sup>の標準寒天を用いたスタンプ法により一般生菌数(以下、「生菌数」とする。)測定を行うとともに、洗浄時の動画撮影を行い、洗浄方法と生菌数の関連を検討した。

また、胸部と肛門周囲部については、厚生労働省通知に基づく拭き取り検査も同時に行い、スタンプ法との相関性を検証した。

剥皮後の洗浄及び指導方法についての検証は、下記のとおりスタンプ法の結果をもとに行った。

- ①自動洗浄後・用手洗浄前及び用手洗浄直後の細菌汚染状況把握
- ②①の結果から検査員が洗浄し、洗浄パターンによる効果検証
- ③図解による洗浄方法指導、図解指導後の効果検証
- ④③の結果から洗浄担当者が検査員立会いのもとで洗浄し、現場指導
- ⑤立会い指導後の効果検証

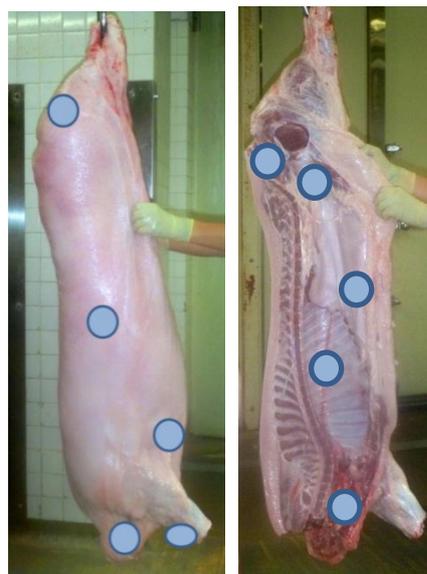


図1 豚枝肉細菌検査実施部位  
外側：肛門周囲部、腰部、胸部、頸部、腕前面  
内側：骨盤腔、膀胱生殖窩、腹膜、胸膜、頸部

### 3. 結果

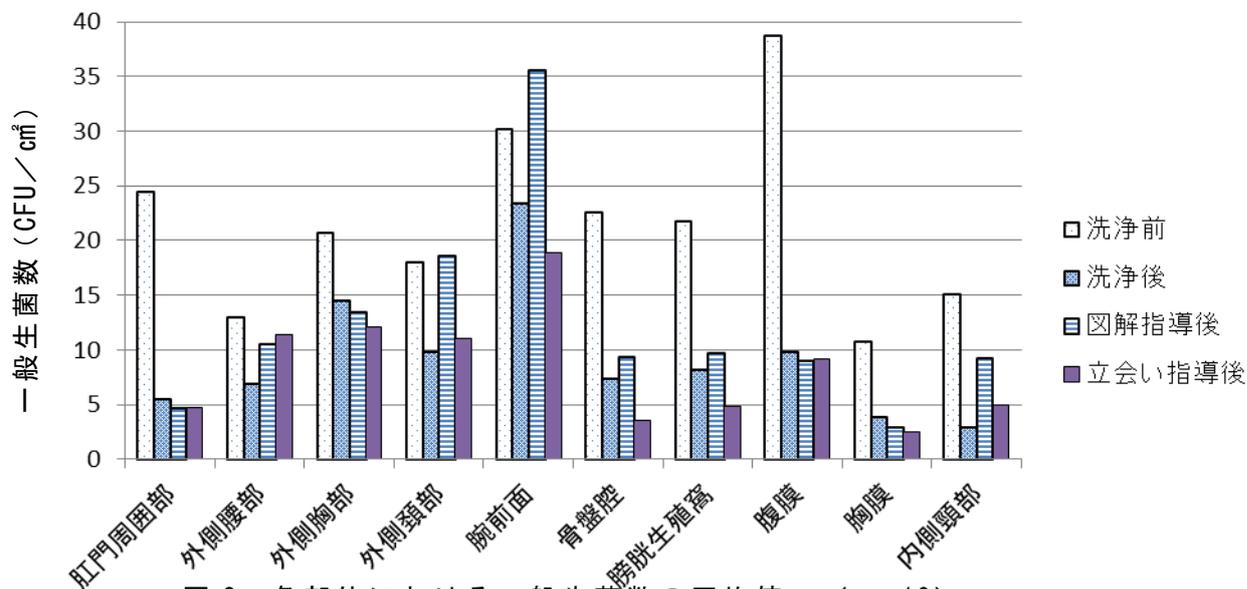


図2 各部位における一般生菌数の平均値 (n=10)

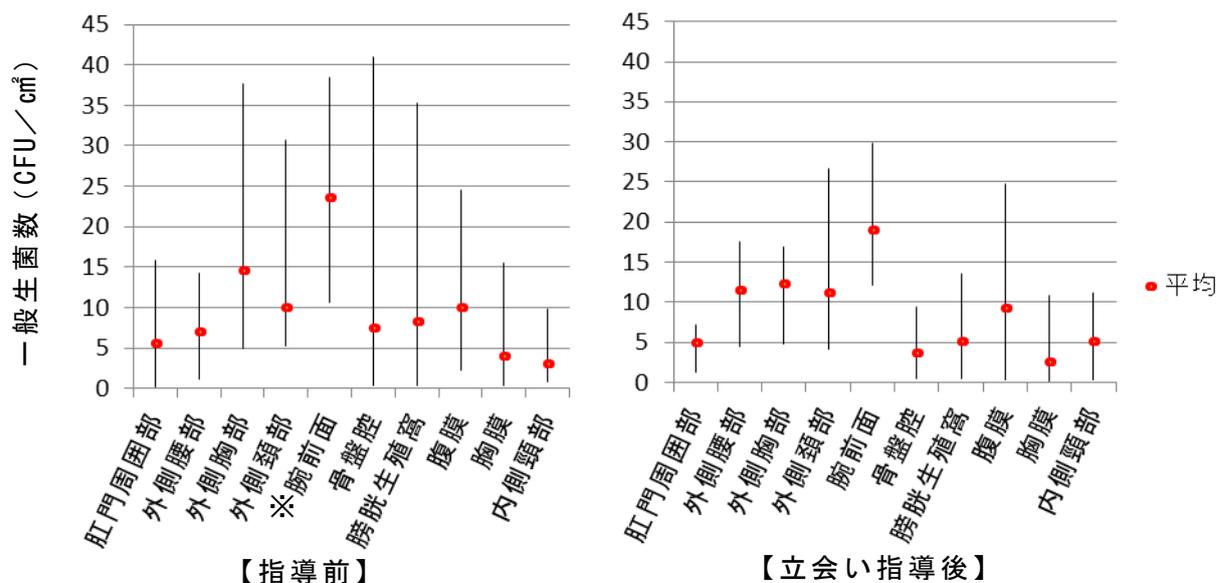


図3 洗淨後枝肉各部位における一般生菌数の平均値及び範囲 (n=10)

※は測定不能の高値のため測定限界値として換算しているため、実際より低くなっている。

検査結果を図2、図3に示す。

動画にて指導前の洗淨方法を確認したところ、個体ごとに洗淨の手順に違いがあり、部位ごとの洗淨時間にも偏りが認められた。腕前面では荷受業者の自主管理目標（拭き取り検査換算）を超える生菌数が確認され、1頭ごとの生菌数のばらつきも大きかった。

検査員が洗淨する動画と照らし合わせた洗淨方法の検証では、洗淨時間が長いほど生菌数が減少すること、高圧洗淨機のノズルを水平方向に動かしながら後肢から頭部にか

けて洗浄することが効果的であることが確かめられた。豚の解体ラインの動きに合わせて洗浄時間が1頭あたり24秒間という限られた時間の中で、枝肉全体の細菌数を減らすには、枝肉の内外の側面毎に6秒ずつ洗浄すること、汚染が残りやすい部位（骨盤腔、膀胱生殖窩、頸部内側、腕前面）の時間配分を長くすることが最も効果的であることを確認した。

図解による洗浄方法指導後の検査では、担当者が洗浄方法に不慣れなこともあり、細菌数が増加する傾向も認められたが、次の、検査員立会いのもと洗浄時に直接指導する方法をとったことにより、指導後は枝肉間の細菌数のばらつきも減り、すべての検査部位で、荷受業者の自主管理目標（拭き取り検査換算）を下回ることができた。

#### 4. 考察

厚生労働省通知による拭き取り検査部位は、外側の2か所であるが、今回は検体採取部位を枝肉内側も含む10か所に増やして豚枝肉全体の細菌の分布を把握した。

実際に検査員が洗浄して撮影した動画と細菌数の結果を照らし合わせることにより、洗浄の時間配分を部位ごとに変えた場合の効果を確認することができたため、より実践的な洗浄方法を指導することが可能になった。また、洗浄担当者が汚染部位を再確認することができ、作業の際の意識向上につながることができた。

当初、洗浄方法を図解した文書で指導を行ったものの、洗浄担当者は自身がどのように洗浄しているのか把握することが難しいため、指導どおりの洗浄方法を習得することが難しいように思われた。

今回は検査員が洗浄担当者の横につき、協同で洗浄しながら1頭ごとに細やかな指導を行うことで洗浄方法を習得してもらい、良好な結果を得ることができた。洗浄時の動画と洗浄後の細菌数を併せて検証することは、指導する上で非常に有効であると思われる。

また、今回活用したスタンプ法による一般細菌数検査は、拭き取り法と高い相関( $p < 0.01$ )が認められ、精度の高い検査法であることが推察された。回帰式から拭き取り法に換算したコロニー数を求めることができるため、指導する際の管理基準の目安として活用することができ、有効であると思われた。

今後の課題として、洗浄方法は担当者の長年培った経験や、心理面からも頸部内側等の見目に複雑な構造の部位の洗浄に集中して時間をかけがちであるため、無意識のうちに洗浄方法が変わっていく可能性がある。今後も定期的な検査と指導により食肉の安心と安全の確保を図りたい。

## 第 6 章 付 表

# 1 岐阜市食肉地方卸売市場概要

## (1) 概 要

ア 位 置	岐阜市境川5丁目148番地		
イ 敷 地 面 積	21,879.93 m <sup>2</sup>		
ウ 建 物 面 積	7,814.73 m <sup>2</sup>		
エ 能 力	と畜処理能力(1日)	大動物 75頭	小動物 600頭
	汚水処理能力(日量)	1,500m <sup>3</sup>	
	冷蔵能力(小動物に換算)	1,050頭	
	汚泥脱水能力	4,000kg	
	収容能力	大動物 115頭	小動物 560頭
オ 建 築 年 月 日	昭和42年11月 岐阜市食肉センターとして竣工		
カ 建 築 物			

名 称	面 積	備 考
1. 本 館 棟	4,105.78 m <sup>2</sup>	大動物と室 小動物と室 冷蔵庫 懸肉室兼せり場
2. 事 務 棟	381.60 m <sup>2</sup>	大動物解体室 小動物解体室
3. 控 室 棟	132.46 m <sup>2</sup>	内臓処理室 枝肉処理場
4. 作 業 員 控 室	64.80 m <sup>2</sup>	大動物係留所 小動物収容所
5. 調 理 師 控 室	64.80 m <sup>2</sup>	市管理事務所 関係事務所
6. 現 業 員 控 室	39.58 m <sup>2</sup>	管理人住宅 買受人控室
7. 倉 庫	48.60 m <sup>2</sup>	会議室
8. 病 畜 と 室	50.00 m <sup>2</sup>	
9. 焼 却 炉 上 屋	98.99 m <sup>2</sup>	
10. 洗 車 場	64.00 m <sup>2</sup>	
11. 汚 水 浄 化 槽	1,942.40 m <sup>2</sup>	
12. ブ ロ ア ー 室	49.17 m <sup>2</sup>	
13. 汚 泥 処 理 場	173.00 m <sup>2</sup>	
14. ポ ン プ 室	9.00 m <sup>2</sup>	
15. 廃 棄 物 処 理 棟	59.42 m <sup>2</sup>	
16. お が く ず 置 場	30.00 m <sup>2</sup>	
17. 受 付 棟	4.53 m <sup>2</sup>	
18. 冷 蔵 庫 棟	496.60 m <sup>2</sup>	

## キ 機 構

- 岐 阜 市 施設の維持管理及び業務の指導監督  
食肉検査(岐阜市保健所食肉衛生検査所)
- 卸 売 業 者 株式会社 岐阜県畜産公社(荷受機関)  
授權資本金 5,200万円 払込済資本金 4,950万円  
県 700万円 市 700万円 全農 1,350万円 県信連 400万円  
県食肉連 1,700万円 県家畜商組合 100万円  
岐阜県卸売市場条例に基づき、市場を通じ食肉の委託販売を行う機関で  
あり、食肉の販売代金を基準とする手数料を収受し業務を運営する者
- 買 受 人 市長の承認を受け、本市場でのせり売りに参加し食肉の買受けをする者
- 付 属 営 業 人 市長の承認を受け、本市場での市場業務に附帯した業務を行う者
- 日 本 食 肉 格 付 協 会 牛、豚の枝肉の規格格付けを行う者